

CSR報告書 2018



三ツ星ベルト株式会社
MITSUBOSHI BELTING LTD.





【目 次】

1. 企業プロフィール	2
2. 環境への取り組み	8
3. 品質への取り組み	12
4. 社会貢献活動	15
5. 働き方改革と人材育成活動	22
6. コーポレートガバナンス	24
7. 内部統制体制	25



1. 企業プロフィール

会社概要

商 号：三ツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.

創 業：1919年(大正8年)10月10日

資本金：81億5,025万1,031円

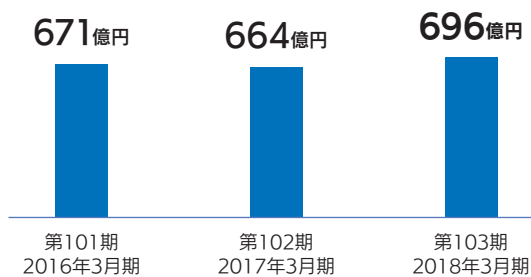
従業員数：4,263人(単体 711人)
(2018年3月31日現在)

営業品目

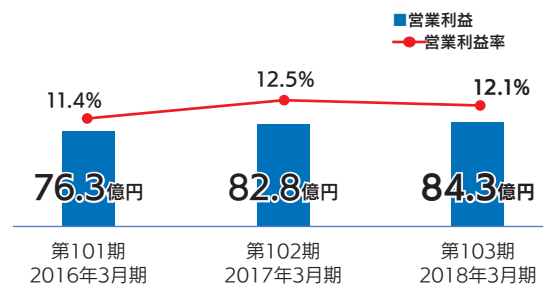
- 伝動ベルト及び関連機器
- 搬送ベルト及びシステム・関連製品
- エンジニアリングプラスチック
- 発泡射出成形品(エンジニアリングストラクチャルフォーム)
- 防水・遮水材
- 金属ナノ粒子関連製品

財務ハイライト

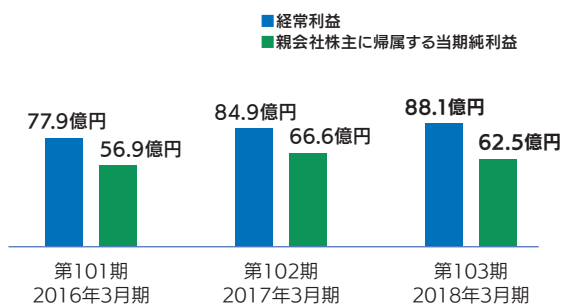
■ 売上高



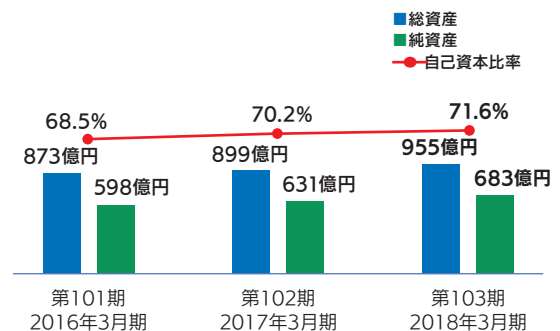
■ 営業利益・営業利益率



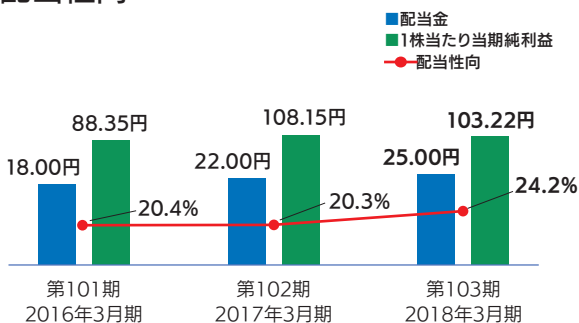
■ 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



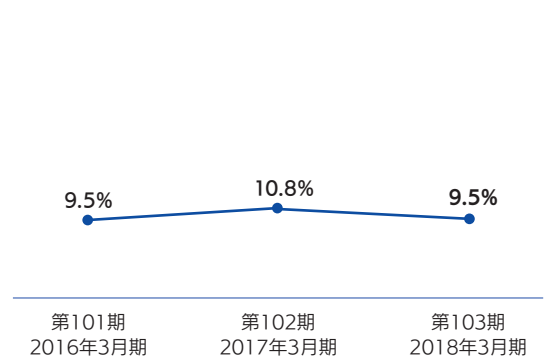
■ 総資産・純資産・自己資本比率



■ 配当金・1株あたり当期純利益・配当性向



■ ROE(自己資本利益率)



国内ベルト事業

売上高 280億37百万円

営業利益 73億13百万円

日本国内でのベルト(※)の製造・販売事業です。
(※) 伝動・搬送ベルト、金属製品、樹脂製品



高い伝動容量を備えたギガトルクGX

海外ベルト事業

売上高 319億74百万円

営業利益 34億34百万円

海外での伝動ベルトの製造・販売事業です。



マルチ(結合)タイプのラップドVベルト

建設資材事業

売上高 48億54百万円

営業利益 1億25百万円

建築用防水材・土木用遮水材の製造・販売事業です。



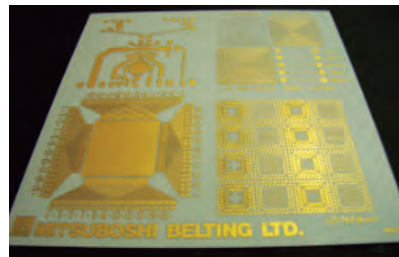
処分場で使用されている遮水シート

その他

売上高 47億27百万円

営業利益 1億86百万円

エンジニアリングストラクチャルフォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品の製造・販売、ならびに仕入商品等の販売事業です。



銅ペーストを用いた回路基板

売上高構成比

その他

47億27百万円

建設資材事業

48億54百万円

海外ベルト事業

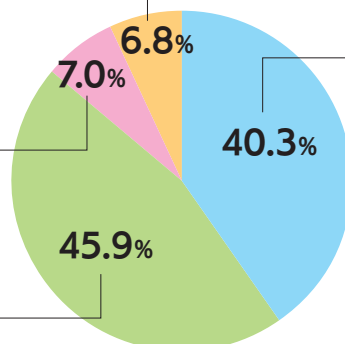
319億74百万円

国内ベルト事業

280億37百万円

売上高合計

695億94百万円



人を想い、地球を想う

それは、三ツ星ベルトが未来に託す願いです

確かな技術力が実現する
高機能・高精密・高品質。

環境問題への全社的取り組みで
実現した「ISO 14001」認証取得



神戸市向洋小学校のトンボ池

「ISO 9001」「IATF16949」は
世界的な品質基準。三ツ星ベルトは
数々の認証を取得しています。

三ツ星ベルトグループは、各種製品で世界トップ
レベルの品質システム向上のため、ISO 9001、
IATF16949の認証取得を推進しています。

また、世界的に環境保全の充実が求められるなか
「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、ISO
14001（環境マネジメントシステム）の認証をも
取得しています。





代表取締役会長



代表取締役社長

西河 紀男

垣内 一

工業用のベルト専門メーカーとして1919年神戸で創業。たゆまぬ研究と開発を重ねて、業界のリーディングカンパニーへと成長しました。防水・遮水材、エンジニアリングプラスチックなどに業容を拡大した今も「品質を作り、品質を売る」という創業の精神は連綿として受け継がれ、ユーザーから厚い信頼をいただいています。人々の生活と産業の発展を支える三ツ星ベルトの高品質製品群。グローバル化が進みボーダーレスになって価値観が変わったとしても、三ツ星ベルトが品質にこだわる姿勢は変わりません。品質保証に関していえば、世界でも特に厳しいといわれるIATF16949・ISO/TS16949の認証を内外の工場で取得する一方、各種製品でISO9001の認証を取得。また、ISO14001は国内主力工場で取得するとともに、地球にやさしい製品の開発にも積極的に取り組んでいます。三ツ星ベルトは「高機能・高精密・高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」を「経営基本方針」にかかげ、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、人と社会に貢献してまいります。

三ツ星ベルトは 先進の発想と技術で 人と地球の 豊かな21世紀を創ります。

モノや情報があふれる現代社会。20世紀は人々が豊かさを手にした時代だといえます。工業用ベルトをはじめとするモノづくりを進めてきた三ツ星ベルトも、さまざまなカタチで時代に貢献してきました。そして21世紀の「いま」、私たちの暮らしや身近な自然には、環境破壊の波が押し寄せています。未来への不安、危機感…。「いま」こそ、すべての人々が「人と地球の在り方」を、真剣に考えなければならないときです。この大切な「いま」に三ツ星ベルトは「人と地球」という視点から、「技術の方向性」「製品の役割」を見つめ直します。「人を想い、地球を想う」という基本理念のもとに、先進の発想と「高機能・高精密・高品質」を提供する高度な技術力の追求によってより快適で豊かな未来を目指します。

経営方針

当社は、次世代の産業分野のニーズに対応できる製品づくりの観点から「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」ことを「経営基本方針」とし、また、社員一人ひとりが「今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する」を社訓とします。さらに、人にも地球にも優しい「人を想い、地球を想う」を基本理念と定め、当社グループ全体が社会の発展とともに共存共栄していくことを指針とします。

社 訓 今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する

基 本 理 念 人を想い、地球を想う

経営基本方針 高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する

経営戦略

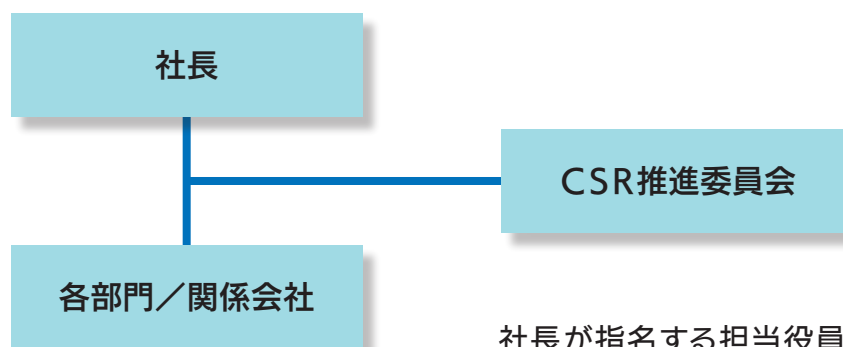
- 世界に通用する財務体質づくりを目指し、一層の体質強化を図ります。
- 世界的な技術競争に対応するために、研究開発体制、技術力の強化を図ります。
- 次世代を見定め、ユーザニーズに対応した高機能、高精度、高品質な製品を生産できるシステムの確立を推進します。
- 世界的なコスト競争力に対応するために、世界最適生産体制の確立とコスト競争力のある体質づくりを目指します。
- 生産、販売及び物流体制の強化を図ります。
- 人材の確保と育成を図るため、新卒社員の採用並びに専門的知識と経験の豊富な人材の通年採用を積極的にすすめます。
- 地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献いたします。

CSRを推進するために

◆基本方針

三ツ星ベルトグループのCSR活動は、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、先進の発想と「高機能・高精密・高品質」を提供する高度な技術力の追求によって当社グループを取り巻くステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）との共生を図り、継続して人と社会に貢献することで、快適で豊かな未来を目指してまいります。

◆CSR推進体制



社長が指名する担当役員を委員長とする「CSR推進委員会」を設置し、CSR基本方針に基づき具体的な活動計画を策定し推進してまいります。

◆CSR報告書の編集方針

三ツ星ベルトグループは、経営方針やCSR に対する考え方・推進体制・活動内容をわかりやすく開示し、ステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）の方々とのコミュニケーションを図ることを目的に、毎年「CSR 報告書」を発行しています。

2.環境への取り組み

環境基本方針

ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、「人を想い、地球を想う」基本理念に基づき、環境基本方針を定めています。

1. 三ツ星ベルトグループは、伝動ベルト、搬送ベルト、金属製品、樹脂製品、建築用防水材・土木用遮水材及び金属ナノ粒子を応用した新製品の「高機能、高精密、高品質」なゴム・プラスチック等の製品群のメーカーとして、環境への多大な関わりをもっていることを認識し、全ての事業活動において環境との調和を目指した製品技術・生産技術等の開発により、技術領域を広げていくと共に、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
2. 材料、エネルギーの投入から開発設計、製造、販売等の各段階より生み出される事業活動・サービスに関わる環境影響を的確に把握し、汚染の防止及び予防、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性保全に努め、継続的に改善する。
3. 資源の採取から製造、使用、廃棄等に至るまでライフサイクルの視点に立ち、当社の製品が環境に及ぼす影響を把握し、部品・材料及び製造段階での有害物質の不使用、リサイクル材の使用、リサイクル性を配慮した設計と製造等の取り組みを通じて、グリーン商品の提供を推進する。
4. 環境に関する法規制及びその他関連する要求事項を順守すると共に、各事業場の立地における自然環境を維持し、地域社会の一員としての自覚と責任を持ち地域における環境保全に努める。
5. 環境管理体制の整備、充実を図り、省資源・省エネルギー・廃棄物の低減・リサイクルの促進・環境負荷物質の削減等の目標を定め、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの向上が達成できるように従業員一人ひとりに徹底し、これらの環境活動の継続的改善を推進する。
6. この環境基本方針は、維持され、毎年度見直され、実行されるものとする。また、この環境基本方針は構内全従業員に周知されるよう徹底する。
7. この環境基本方針は、社外開示用に文書化し、一般の人まで入手可能なものとする。

ISO14001認証取得状況

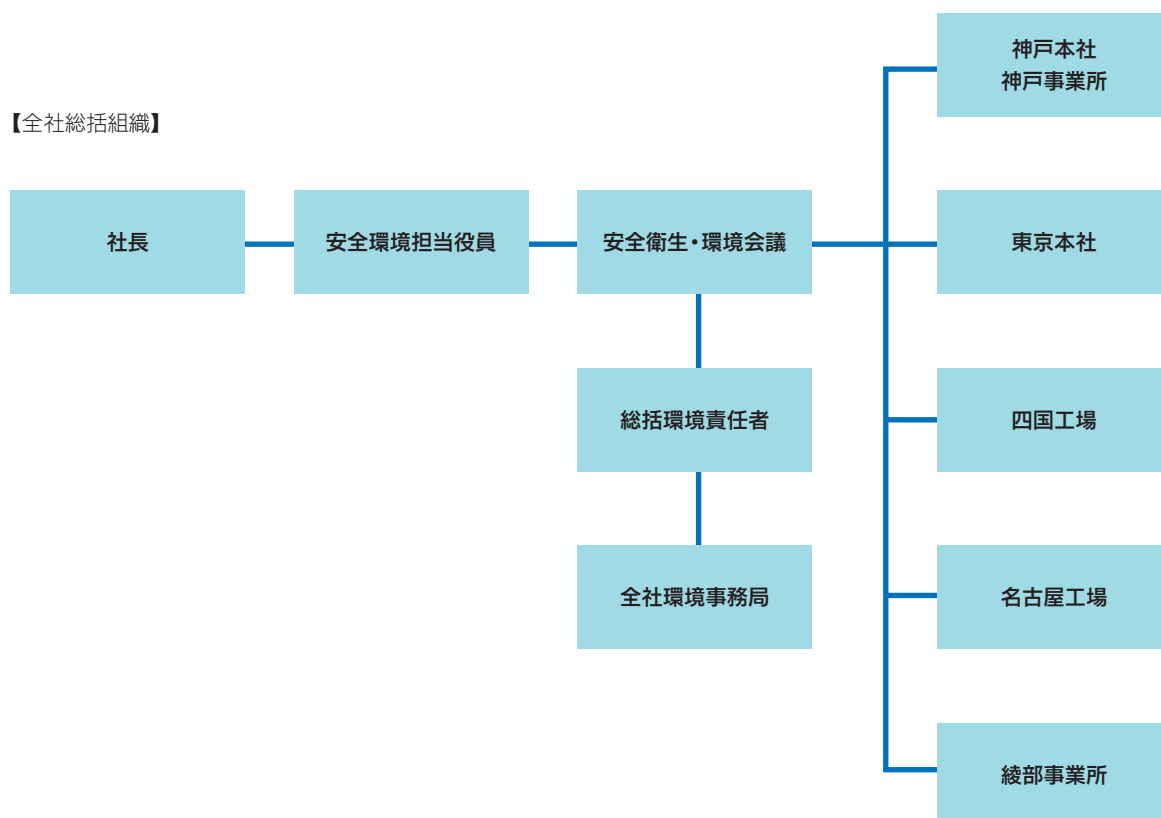
当社グループは、1994年9月以降に国内外14拠点でISO14001の認証を取得し環境保全活動を促進しています。

対象		取得年月日
神戸本社・神戸事業所	金属ベースト、回路基板、塗料	1999.09.24
名古屋工場	コンベヤベルト エンジニアリングプラスチック 建築用防水シート 土木用遮水シート	
四国工場	伝動ベルト	
三ツ星ベルト技研株式会社	伝動ベルト	
三ツ星ベルト樹脂株式会社 神戸事業所	エンジニアリングプラスチック	
三ツ星ベルトコンベヤ株式会社 神戸事業所	コンベヤベルト	
ネオ・ルーフィング株式会社	建築用防水シート 土木用遮水シート	
MBL (USA) CORPORATION	伝動ベルト	2002.12.10
P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia	伝動ベルト	2003.03.19
MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	2004.12.15
STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	伝動ベルト	2006.09.14
蘇州三之星機帶科技有限公司	伝動ベルト	2007.10.22
P.T. SEIWA INDONESIA	伝動ベルト	2008.11.06

環境推進組織

年2回、安全衛生・環境会議を開催し、環境に対する課題に取り組んでいます。

【全社総括組織】

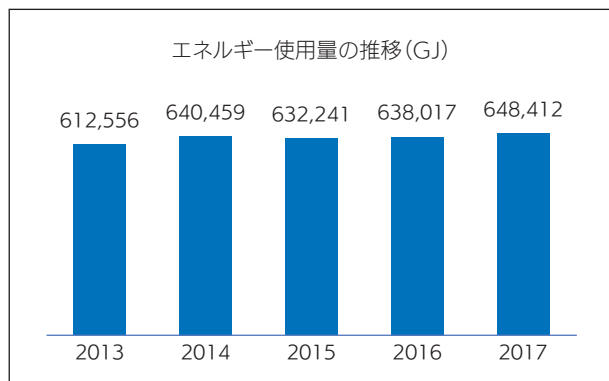


第100回安全衛生・環境会議

低炭素社会の構築

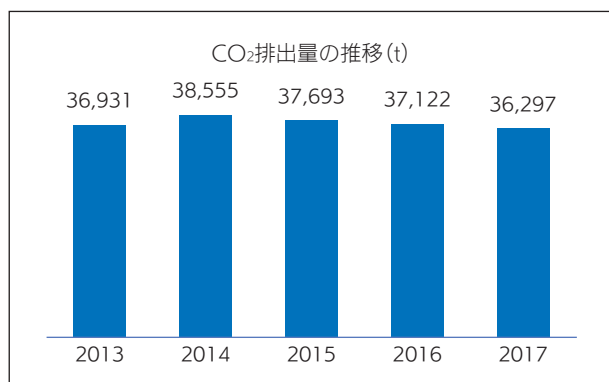
当社グループは、日本ゴム工業会の「自主行動計画・目標」への参画を通じて、温暖化対策（CO₂削減）、3R対策（排出物発生抑制・リユース・リサイクル化）、VOC（揮発性有機化合物）排出削減などを推進しています。

【エネルギー使用量】



2010年度 改正省エネ法により、特定事業者に指定され、省エネ活動を推進しています。

【CO₂排出量】



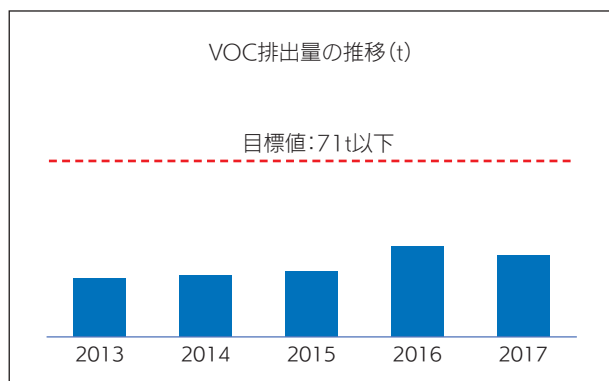
経団連の低炭素社会実行計画に参画し活動しています。

循環型社会の構築

【ゼロエミッション】

ゼロエミッション活動推進により廃棄物最終処分量はゼロで推移しています。

環境負荷物質管理



揮発性有機溶剤 (VOC) 排出量は、日本ゴム工業会の目標値を達成し推移しています。

今後も引き続き、生産効率改善をすすめ、低減活動を推進します。

環境配慮型製品の開発

当社グループは環境配慮型製品の提供を通して、地球環境保全に取り組んでおります。

● 自動車用補機駆動用ベルト 低燃費仕様

ゴム配合を改良することにより、ベルトの伝動効率を高め、ベルト単体でエンジンの低燃費化を実現しました。



自動車用ベルト



エンジンでの使用例

● 省エネルギー用Vベルト e-POWER®



e-POWER®

e-POWER®シリーズは、特殊形状を採用する事により、曲げ応力を軽減し、**省エネ効果を高めたベルトです。**

● ネオ・ルーフィングE 糊付き(フィルム無し)



施工現場の風景

接着剤付加硫ゴム系防水シート「ネオ・ルーフィングE糊付き(フィルム無し)」を開発しました。従来の接着剤付シートに比べ、**施工能率が向上し、併せて廃材を大きく削減できる環境対応型**の防水シートです。

- 廃材発生が大幅に削減できます。
- 施工能率が向上します。
- 安定した施工品質が得られます。
- 環境に配慮した素材です。

3. 品質への取り組み

品質基本方針

三ツ星ベルトグループでは、「経営基本方針」を「品質基本方針」と定め、その「行動基準」に基づき、顧客に提供する製品・サービスの質向上を図るための品質保証体制を整備し、活動しています。

品質基本方針

「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」

行動基準

- ① 顧客の満足を得る製品を開発する。
- ② 全社的品質管理(TQM: Total Quality Management)を充実・レベルアップし、国内外業界のトップレベルの品質を確保する。
- ③ 決めた標準を守って仕事を行う。

品質マネジメントシステム取得による品質保証への対応

品質マネジメントシステムについては、自動車用関連製品で世界トップレベルの品質システム向上を図るため、国内外の工場で、自動車業界の国際品質規格IATF16949の認証を取得するとともに、各種製品でISO9001の認証を取得し、品質保証体制の強化を図っています。

IATF16949・ISO/TS16949・ISO9001・JIS A 6008 認証取得状況

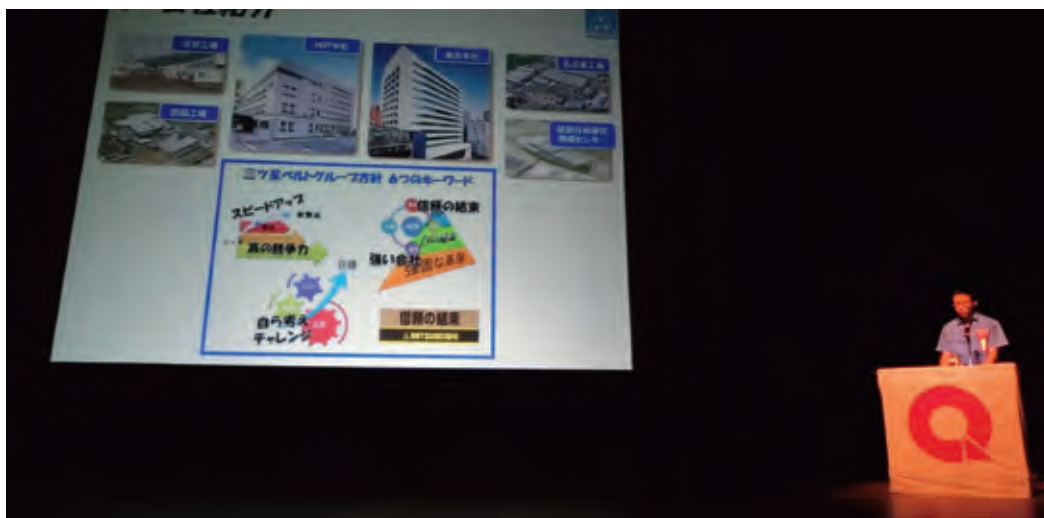
規格種類	対象		取得年月日
IATF16949	産業資材事業部門 (神戸本社、東京本社、名古屋工場、四国工場) 三ツ星ベルト技研株式会社	伝動ベルト	2004.05.04
	MBL (USA) CORPORATION MBL (USA) CORPORATION Detroit Office	伝動ベルト	2004.04.28
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	伝動ベルト	2005.05.21
ISO/TS16949	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	2006.09.27
	P.T. SEIWA INDONESIA	伝動ベルト	2004.11.05
	蘇州三之星機帶科技有限公司 上海共星機帶國際貿易有限公司	伝動ベルト	2008.09.16
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	2015.05.06
ISO9001	産業資材事業部門 (神戸本社、東京本社、四国工場) 三ツ星ベルト技研株式会社	伝動ベルト	1996.06.10
	産業資材事業部門 (名古屋工場)	ウォームホイールブランク 浄水器用フィルター	1996.06.10
	研究開発本部	金属ペースト、回路基板、塗料	2011.11.28
	建設資材事業部 (神戸本社、東京本社、名古屋工場)	建築用防水材 土木用遮水材	1998.12.28
	三ツ星ベルト工機株式会社	タイミングプーリ	2003.05.12
	三ツ星ベルトコンベヤ株式会社	樹脂製コンベヤベルト	2004.02.03
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	1993.12.29
	P.T. Mitsubishi Belting Indonesia	伝動ベルト	1999.12.03
	P.T. SEIWA INDONESIA	伝動ベルト	2000.04.03
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	伝動ベルト	2009.03.16
	蘇州三之星機帶科技有限公司 上海共星機帶國際貿易有限公司	伝動ベルト	2008.09.16
JIS A 6008	建設資材事業部(名古屋工場)	合成高分子ルーフィングシート	2008.07.29

従業員の品質意識向上 – QC(品質管理)サークル活動 –

三ツ星ベルトグループでは、「品質基本方針」に基づき、全社的な品質管理(TQM:Total Quality Management)を推進しています。その一環として、1967年からQC(品質管理)サークル活動に取り組んでいますが、近年は、国内工場に留まらず、海外にも広がり、グローバルな人材育成・改善活動の場として定着しています。毎年、秋には「三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会」を開催し、現場における製品の品質管理や作業効率の改善などの事例を発表し合い、相互研鑽を図っています。社外のQCサークル発表会にも積極的に参加しており、2017年6月に開催されたQCサークル東海支部愛知地区主催「QCサークルフレッシュ大会」では、名古屋工場の施設課サークルが「愛知地区長賞」を獲得しました。



2017年度三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会(シンガポール)



2017年度QCサークルフレッシュ大会(QCC東海支部愛知地区主催)にて、「愛知地区長賞」獲得



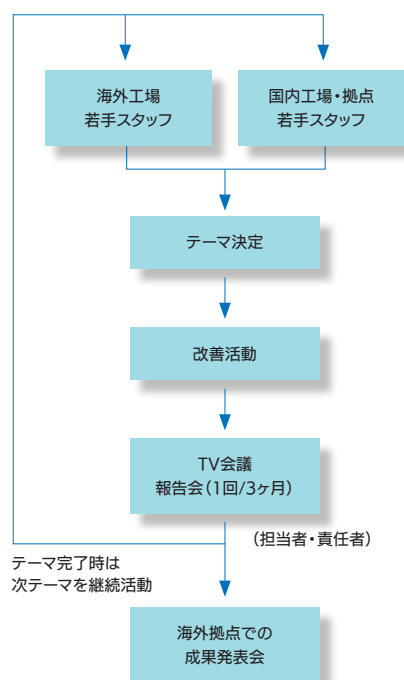
2017年度QCサークル全社大会(神戸本社)

GLOBAL GEMBA KAIZEN ACTIVITY



国内外工場、拠点の若手スタッフが主となり、生産工場における、生産性向上や歩留まり向上、不良低減などの原価低減テーマを計画的に改善していきながら、人材の育成を図る取り組みを実施しています。テーマの選定は、各工場より1件以上とし、国内工場スタッフと海外工場スタッフが連携し、各テーマを解決していきます。先輩スタッフを交えた定期的な進捗報告会や、年1回の海外工場での活動成果発表会などを通して、改善活動のレベルアップや拡販を図っています。

活動フロー



活動状況

WEB 会議

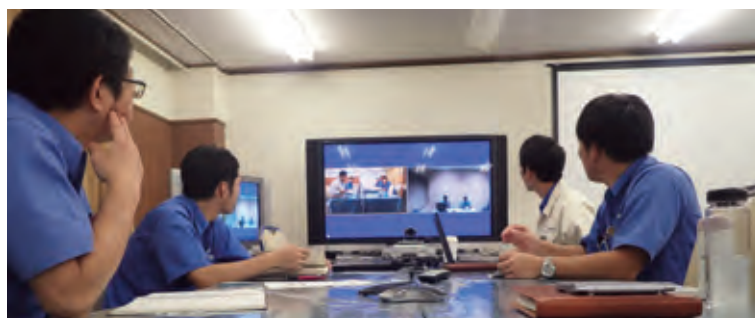


海外工場



国内拠点

TV会議



国内拠点

2017年度成果発表会(シンガポール)



4. 社会貢献活動

三ツ星ベルトグループ従業員は、ボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、会社と共に社会貢献してまいります。

ふれあいイベントの開催

— 地域とともに —

地域に根ざした企業として、協議会では「住民と企業の共生によるまちづくり」を目指し、三ツ星ベルトグループ従業員のボランティアスタッフによる“ふれあいイベント”を地域の子どもたちを招いて開催し、住民との交流を深めています。イベントは従業員の手作りで、活動資金は従業員からの寄付でまかなわれています。



“学校ビオトープ”の支援

— 自然と親しむ環境づくり —

神戸市の小学校では池を造り、植物を育て、生物と親しむ、自然と共生できる環境を校内につくる活動“学校ビオトープ”が進められています。三ツ星ベルトはこの活動に土木用遮水ゴムシートの無償提供や従業員のボランティアによる施工協力を行い、子どもたちの環境教育を支援しています。



世界の子どもたちに愛の手を

— 子どもたちの未来を応援 —

世界中では依然として戦争、自然災害、貧困などにより、年間560万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。三ツ星ベルトは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、これら子どもたちのお役に立てればと、従業員一人ひとりにから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付金贈呈を毎年継続しています。また、子どもたちの未来を応援するこの活動は、国内各事業場にとどまることなく、海外拠点にも展開しています。



防災への取り組み

— 災害に負けない —

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災では、三ツ星ベルト従業員で構成する自衛消防隊約60人がいち早く火災現場に出動、地域住民と協力して延焼をくい止めました。また、地域の被災者約400人の避難所として、約4ヵ月間に亘って会社所有の体育館を開放するなど、地域とのつながりを深めてきました。この助け合いの精神が、地域との協力による防災に、今もなお息づいています。



ふれあいイベントの開催

【神戸本社・事業所(神戸市長田区)】

わたしたち、みんなピッカピカの子どもたち(4月)

真野地区の小学校に入学した新1年生を招待して、入学をお祝いする会を開催しています。地元の警察署や消防署の協力による交通安全指導や、子どもたちの歌の発表、屋外では白バイやミニ消防車に乗って記念撮影など、子どもたちの健やかな成長を祈っています。



たなばたまつり(7月)

地域に隣接する神戸市営地下鉄海岸線が2001年の7月7日に開通したことを祝って始まったたなばたまつり。綾部事業所がある京都府綾部市から笹の寄贈を受け、周辺道路は願い事が書かれた笹飾りで華やかに彩られます。特設ステージでは、子どもたちによる歌や踊りが披露され、会場内には地域住民や三ツ星ベルト従業員が思い思いに企画した数多くの屋台が軒を連ねます。四国工場がある香川県さぬき市からはさぬきうどんが、京都府綾部市からはあゆの山賊焼きが毎年来場者に振舞われ、今では神戸・長田の夏の風物詩となっています。



ふれあいクリスマス会(12月)

地域住民を招待してクリスマス会を開催しています。子どもたちの歌や踊りが披露され、ボランティア参加の従業員が扮したサンタやトナカイが会を盛り上げ、子どもたちにプレゼントを手渡します。フィナーレは参加者全員でクリスマスソングを大合唱します。



【東京本社(東京都中央区)】 ミュージックサロン(年2回不定期)

震災復興にあたって多くの方からサポートをいただいたお返しをしないと、東京で入場無料のコンサートを開催しています。観客の音楽ファンのみならず、出演する若手の音楽家の皆さんには、一流のコンサートホールで演奏する機会として喜ばれています。



【四国工場(香川県さぬき市)】 地引網とさぬき手打ちうどん 体験会(5月)

四国工場に隣接する海岸での地引網と、さぬき手打ちうどん体験会を開催しています。神戸本社や綾部事業所からもバスを連ねて大勢参加し、普段できない貴重な体験が喜ばれています。



【綾部事業所(京都府綾部市)】

あゆのやな漁 見学会(9月)

綾部市を流れる由良川で、期間を限って行われる伝統漁法“あゆのやな漁”を見学する会を開催しています。神戸本社や四国工場からもバスを連ねて参加し、川に仕掛けられた“やな”に打ち上げられて飛び跳ねるあゆを手づかみで捕まえようとする子どもたちの歓声が絶えません。



【“学校ビオトープ”の支援】

神戸市の小学校では池を造り、植物を育て、生物と親しむ、自然と共生できる環境を校内につくる活動“学校ビオトープ”が進められています。三ツ星ベルトはこの活動に加硫ゴム製遮水シートの無償提供や、従業員のボランティアによる施工協力をを行い、現在までに神戸市内の小学校に100を超えるビオトープ池を完成させています。三ツ星ベルトは自社の製品と技術で子どもたちの環境教育を支援しています。



子どもたちの未来を応援する活動

「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子どもたちへの支援活動を行っています。

阪神・淡路大震災で三ツ星ベルトの本社がある神戸市長田区は壊滅的な被害に見舞われました。歳月が流れるとともに災害に対する当時の記憶は薄れつつあります。しかし、世界中では依然として貧困などによって、年間560万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。

三ツ星ベルトグループは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、こうした子どもたちの役に立ちたいと、震災10年目の節目にあたる2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」と題して、グループ従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会に対する寄付金贈呈を毎年継続して実施しています。

※ユニセフ (UNICEF・・・国際児童基金)

We Support



【日本ユニセフ協会への寄付金贈呈】



【関係自治体(兵庫県・神戸市・綾部市・さぬき市)の福祉施設等への車両寄贈】

ジャカルタ近郊の幼稚園・小学校に文房具などを寄付

三ツ星ベルトグループは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、2008年よりインドネシアの首都ジャカルタのマリンダ地区にある幼稚園・小学校の支援活動を行っています。

2008年には新校舎、2013年には制服・ハンカチ・鞆・文房具を寄贈しました。



防災への取り組み(防災訓練)

地域との協力による防災

三ツ星ベルトでは、事業場ごとに毎月一斉防災訓練を行うなど、従業員の災害に対する意識向上を図っています。

阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「三ツ星ベルト防災の日」とし、当日あるいはその前後に、消防署の協力を得てスケールアップした総合防災訓練を毎年行っています。

訓練は震度6強の地震が発生したことを想定し、近隣の方々にも参加していただき、避難訓練、負傷者救助訓練、炊き出し訓練を定例訓練として行っています。また、パケツリレー、土嚢積みによる浸水防止訓練、応急担架による負傷者搬送訓練なども行っています。



神戸事業所中央第1棟（広告塔のある建物）は、大地震の際の大規模な津波の発生に備え、一時待避所として地域住民等を受入れるため、神戸市と「津波緊急待避所としての利用に関する協定」を結んでおります。



阪神・淡路大震災発生時の対応

1995年に発生した阪神・淡路大震災当日は、工場夜勤者及び保安担当による自衛消防隊が、狭い道路でも有効な手押し（可搬式）動力ポンプ3台からホースを伸ばし放水し、消火器50本と住民100人余りのパケツリレーによって延焼を食い止めました

また、当時の体育館は、その日のうちに避難所として開放し、近隣の被災者約400人が約4か月間避難するなど、地域社会との連携を深めてまいりました。

大災害発生における住民、自治体との日常的なコミュニティー活動の重要性をあらわしています。

5. 働き方改革と人材育成活動



働きやすい諸制度

従業員が多様な働き方を可能とするため、休暇制度の充実、柔軟な勤務時間制を取り入れています。有給休暇は時間単位で取得可能、結婚休暇・出産休暇・メモリアル休暇・ふれあい休暇など、育児や介護の必要な従業員の立場・視点より考え、働きやすい環境となっています。特に育児を行いつつ働いている従業員が短時間勤務を行った場合、所定内時間より少なくなった時間を賃金から差し引かず、賃金を支給しています。育児と仕事の両立が行いやすい環境を整えています。

また「子育てサポート企業」として、2008年に厚生労働大臣の認定を受け、「くるみん」を取得しました。今後も従業員が安心して働ける環境作りに取り組んでまいります。



社会を支える制度

2006年度より、お星さま制度及びお星さま休暇を創設し社会全体を支え貢献できる制度を導入しました。

1. お星さま制度

母子家庭または父子家庭、障害のある子供をもつ従業員に支援金を毎月支給しています。2006年度より延べ6,028名(2018年3月現在)に支援金を支給してきました。

支援金を受けている従業員の実態を見ると、平日に行われる幼稚園、保育園等での行事参加や急な子供さんの病気のための通院等で休暇を取る必要性がありました。また介護の必要な身内のために休暇を取る従業員も見受けられました。そこで次のお星さま休暇制度も導入しました。

2. お星さま休暇

共働き世帯、母子・父子家庭の学校行事への参加、障害のある子供の通院や要介護者及び老人の介護等のための休暇を取得できます。要件ごとに年間の休暇数に上限はありますが、休暇による賃金は減額していません。

人材育成活動

海外研修

海外との交流(体験)による人材育成の一環として、2000年より海外研修を行っています。毎年数名ずつ、現地に住み、現地の大学に1年間通っています。今までアメリカ・ドイツ・中国・タイなど幅広い国で研修をし、海外との交流を深めています。

従業員の能力を高め、多様性、人格、個性を尊重する、人材育成活動を行っています。



海外研修生の受け入れ育成

海外関係会社より、現地従業員を日本に受け入れ、生産技術・品質管理を現場で研修しながら日本語も学んでいます。また現地で担当している業務を、さらに深く学習しています。日本で研修・学習した内容を、各国へ持ち帰り、海外関係会社にて展開することにより、更なるレベルアップへ貢献しています。



6. コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、ステークホルダーの信頼を確保し、企業の社会的責任を果たすためには、コーポレート・ガバナンスの充実が経営上の最重要課題のひとつであると考えています。この考えの下、事業環境や市場の変化に迅速かつ柔軟に対応して業績向上に努めていくとともに、経営の効率性・透明性を維持・向上させるため、次の基本方針に基づき、経営に対する監督機能や内部統制体制の強化などに取り組み、コーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

【基本方針】

- (1) 株主の権利を尊重し、株主の平等性を確保することに努める。
- (2) ステークホルダー(株主・顧客・従業員・地域社会等)の権利や立場を尊重し、適切に協働することに努める。
- (3) 会社情報を適時・適切に開示し、透明性・公正性を確保することに努める。
- (4) 株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえて、取締役会等の役割・責務を適切に果たすことに努める。
- (5) 株主との間で建設的な対話を行うことに努める。

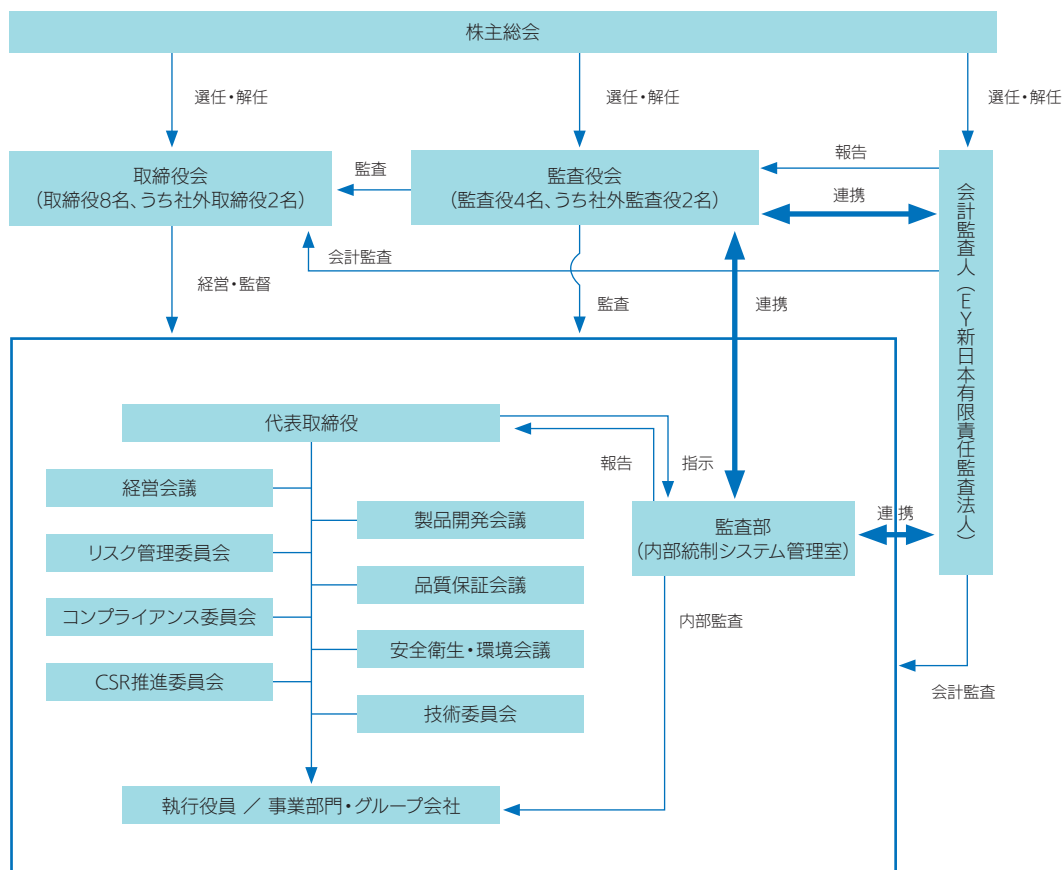
コーポレートガバナンス体制の概要

当社は、社外取締役2名を含む取締役8名から構成される取締役会及び社外監査役2名を含む監査役4名から構成される監査役会を置く監査役会設置会社です。

毎月開催される取締役会において、重要事項に関する意思決定等を行い、取締役の業務執行に対する監督を行っています。

なお、重要事項に関しては、取締役会の開催前に十分な事前協議を行うために、経営会議を開催しています。また、当社は執行役員制度を導入しており、経営上の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離することで、業務執行体制の強化を図り、経営の効率性を追求しています。

【体制図】



7. 内部統制体制

リスクマネジメント

当社は、社長が指名する担当役員を委員長とする「リスク管理委員会」を設置し、同委員会を中心として、リスク管理活動を推進しています。同委員会では、毎年、当社の事業活動に重大な影響を与える「重大リスク」とその対応責任部署を定め、対応方針と対策を決定して「重大リスク」への対応活動を推進するとともにその進捗状況と有効性を審議（年2回）することによって、リスク管理活動の継続的な改善を図っています。さらに、委員会の都度、取締役会に報告し、取締役会の指示事項をリスク管理活動に反映させています。

◆事業継続計画（BCP）の取り組み

当社では、大規模な災害発生時の事業の継続のため、「建物・設備等の耐震化」、「情報システムの停止に対するバックアップ体制の構築」、「緊急対策本部体制の整備及び各拠点での衛星電話の整備」、「従業員の安全確認や実践的な防災訓練の実施」を行っています。また、「代替生産体制の構築と改善、生産復旧計画の策定」に取り組んでいます。

コンプライアンス

当社は以下の体制により、当社グループにおけるコンプライアンスに関する問題の発生防止並びに早期発見・自主的解決を図るようにしています。

- 法令・定款を遵守した行動をとることを示す指針として、「三ツ星ベルトグループ行動基準」を制定し、当社グループの役員及び従業員に対してその周知徹底を図っています。
- 社長が指名する担当役員を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、同委員会を中心として、コンプライアンス活動を推進しています。同委員会では、毎年、当社の事業活動に重大な影響を与える「重大コンプライアンスリスク」とその対応責任部署を定め、対応方針と対策を決定して「重大コンプライアンスリスク」への対応活動を推進するとともにその進捗状況と有効性を審議（年2回）することによって、コンプライアンス活動の継続的な改善を図っています。さらに、委員会の都度、取締役会に報告し、取締役会の指示事項をコンプライアンス活動に反映させています。
- さらに国内については、法令・定款違反またはそのおそれ等に関する情報提供を受け付ける内部通報窓口を社外の弁護士事務所に設置するとともに、情報提供者に対して不利益な取扱いをしてはならない旨の規程を定め、周知徹底を図っています。





三ツ星ベルト株式会社



この印刷物は環境に優しい
大豆油インキを使用しています。



この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

Q128DATA1810UR01836A61